

足立区ユニバーサルデザイン推進会議 会議概要

会 議 名	第 2 7 回足立区ユニバーサルデザイン推進会議		
事 務 局	都市建設部都市計画課、ユニバーサルデザイン担当課、 総務部総務課、福祉部障がい福祉課		
開催年月日	令和 3 年 3 月 2 6 日 (金)		
開催時間	午前 1 0 時 0 5 分 ～ 午前 1 1 時 0 2 分		
開催場所	足立区役所 中央館 8 階 特別会議室		
区長の出席	有 (無)		
出席者	会長 八藤後 猛 委員	戸谷 恵美子 委員	金子 孝一郎 委員
	長澤 陽子 委員	田中 功一 委員	白石 啓 委員
	工藤 理佳子 委員	総務部長 真鍋 兼 委員	障がい福祉推進室長 杉岡 淳子 委員
	都市建設部長 大山 日出夫 委員		
欠席者	署名委員 山田 あすか 委員	村田 雅利 委員	内田 眞 委員
	金井 秀之 委員	川口 郁子 委員	
関係区職員	事 務 局		
	UD担当課長 安岡 毅	UD担当係長 白勢 和道	景観計画係員 高橋 一代
資料	<p>第 2 6 回足立区ユニバーサルデザイン推進会議次第 第 2 6 回足立区ユニバーサルデザイン推進会議座席表 第 2 6 回足立区ユニバーサルデザイン推進会議議事録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 令和 3 年度の年間スケジュール ・資料 2 足立区バリアフリー地区別計画 (江北周辺地区) ・資料 4 - 1 足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿 (令和 3 年度予定) ・資料 4 - 2 足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員の推薦について (依頼) ・資料 4 - 3 足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員の推薦について (推薦書) ・資料 5 「令和 2 年度実施事業」の評価方法及び分類基準 		

	<ul style="list-style-type: none">資料6 施策評価要領参考資料 足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿
そ の 他	傍聴人： <input checked="" type="radio"/> 有・無（1人） その他の参加者：有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(審議経過)

開会

○安岡UD担当課長 皆さん、おはようございます。定刻を5分過ぎましたので、これから始めさせていただきたいと思います。

本日は、お忙しい中、第27回足立区ユニバーサルデザイン推進会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、司会を務めます都市建設部ユニバーサルデザイン担当課長の安岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今回も新型コロナウイルスの感染防止対策として、窓開けをして会議室の換気をさせていただいております。

なお、山田副会長様には所用がありまして、ウェブによる途中参加・退席等を予定しております。

それでは、着座にてご説明させていただきます。

まず、本日の資料確認をさせていただきます。

事前にお送りし、本日お持ちいただいた資料になります。

第27回足立区ユニバーサルデザイン推進会議次第。

参考資料といたしまして、足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿。

第27回足立区ユニバーサルデザイン推進会議座席表。

資料1としまして、第26回足立区ユニバーサルデザイン推進会議議事録。

資料2といたしまして、令和3年度の年間スケジュール。

資料3、足立区バリアフリー地区別計画。こちらのほうは送付分と一緒に製本した冊子を席上配付させていただきました。

資料4-1として、足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿。これは令和3年度の予定になります。

資料4-2、足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員の推薦について(依頼)。

資料4-3、足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員の推薦について(推薦書)。

資料5、「令和2年度実施事業」の評価方法及び分類基準。

資料6、施策評価要領。

以上が事前にお送りの資料になります。何か過不足等ありましたら、事務局のほうまで。——よろしいですか。

本日、席上に配付した資料が4種類ございます。まず、「本日の到達目標と今後の予定(骨子)」。続きまして、先ほど申しましたバリアフリー地区別計画の送付分と一緒に、今回作りしましたパンフレットと冊子を配付させていただきました。あと、いつも参考資料として置かせていただいておりますユニバーサルデザイン推進計画と、参考資料として青色のファイルを席上に配付させていただいております。

以上が本日の会議資料となりますけれども、不足や落丁等がありましたら事務局までお申しつけください。——よろしいでしょうか。

次に、皆さんに2つほどお願いがございます。

まず、本日の会議の議事録を作成する関係上、議事録を作成する委託業者を出席させていただき、本日の会議内容について録音させていただきます。また、記録として背後から会議中の写真撮影をさせていただきますので、併せてご了承ください。

また、本日は、定数15名のところ、現在10名の方が出席いただいておりますので、過半数の8名を超えているため、会議が有効に成立していることをご報告いたします。

それでは、ここからの議事進行は、足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例施行規則第6条第2項に基づき、八藤後会長にお願いいたします。八藤後会長、よろしくお願いいたします。

○八藤後会長 皆様、おはようございます。今日もまたよろしくお願いいたします。

それでは、いつものように事務局に確認ですけれども、本日の会議の到達目標はどこまでになりますでしょうか。ご説明ください。

○安岡UD担当課長 本日の到達目標は、席上に配付させていただきました「本日の到達目標と今後の予定(骨子)」をご覧ください。

目標としましては2つございます。報告・承認事項と審議事項です。

まず報告・承認事項になりますが、(1)～(4)までの各項目の報告と承認。資料1～4は、第26回議事録の承認、第27回議事録署名人の指名、令和3年度の推進会議スケジュール、バリアフリー地区別計画の策定

について、区民委員の選考結果報告と委員の委嘱についてという形になります。

審議事項といたしましては、「令和2年度実施事業」の進捗管理の方法について。こちらにつきましましては、令和2年度の実施事業の評価方法の説明及び評価方法の負担軽減等の方向性の確認をさせていただきたいと思っております。

以上2点が本日の到達目標となっております。

以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明を念頭に入れてまして会議を進めていきたいと思っております。

報告・承認事項(1)第26回議事録の承認と第27回議事録署名人について

○八藤後会長 それでは、次第の「2 議事」の報告・承認事項(1)第26回推進会議議事録の承認と第27回推進会議議事録の署名人についてに入ります。

議事録の内容について、事務局から説明をお願いします。

○白勢UD担当係長 事務局です。

それではまず、資料1、第26回ユニバーサルデザイン推進会議の議事録についてですが、今回も時間短縮ため事前にお配りさせていただいております。説明は省略させていただき、委員の皆様にはご一読いただくということでお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

続きまして、議事録の署名人につきましてご説明させていただきます。

足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例施行規則第10条に、推進会議の議事録を作成し保存すること、また、議事録は会長及び会長が指名する委員が署名することと定められております。これは毎回ご確認させていただいているところでございます。

なお、署名人につきましては、会議の短縮というところで、事前に八藤後会長及び山田副会長と協議をさせていただきまして、八藤後会長、山田副会長のお二人で行うということで了承を頂いているところでございます。

以上で説明を終わります。

○八藤後会長 本日の議事録署名人は、ということで、私と山田副会長にお願いしたいと思っております。これは内諾を得ているということで、ここの場での審議事項になりま

す。そういうことでよろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございます。では、ご承認いただいたということで進めさせていただきます。

報告・承認事項(2)令和3年度の足立区ユニバーサルデザイン推進会議の進行スケジュールについて

○八藤後会長 それでは、(2)の「令和3年度の足立区ユニバーサルデザイン推進会議の進行スケジュールについて」、これを事務局から説明願います。

○白勢UD担当係長 事務局です。

続きまして、令和3年度の年間スケジュールということで、資料2をご覧ください。

令和2年度につきましては、令和元年度から引き続きということでスケジュールを組んでおりました。ただ、年度初めから新型コロナウイルスの感染拡大ということでスケジュールが大幅に遅れて2年度を進行させていただきました。皆様のご協力のおかげで、実施報告書、評価報告書、両方とも承認を頂いているというところでございます。

令和3年度につきましては、今回、令和2年度の新型コロナウイルス感染拡大という状況を踏まえて、かなりスケジュールを圧縮させていただきます。後ほど審議事項で確認させていただきます令和2年度実施事業の進捗管理、評価の方法に関しても、皆様のご負担にならない程度で省略したいと考えております。それを踏まえて、今、資料2でお配りしているスケジュールで進めていきたいと思っております。

令和2年度の我々の経験から、皆さんもご承知のとおり、恐らく春先及び冬場は新型コロナウイルスの感染が拡大すると考えています。なので、春の5月以降から秋口、9月、10月くらいまでの期間内に評価部会及び次の推進会議を進めていきたいと考えています。

皆さんにご出席いただく会議については、資料2の中段にあります表に記載してございます。検討していただく内容は、例年どおり、令和3年度の第1回目、第28回の推進会議で、自己評価の結果の報告であったり、評価部会を進めるに当たってどういう形をやるのかというところを確認いただき、8月中旬に評価部会、9月下旬から10月中

旬に第29回の推進会議で評価結果の報告をしたいと思っています。そして、令和3年度の最後、3月下旬くらいに年度最後の会議を実施させていただきたいと考えています。当然、感染の拡大の状況によってスケジュールは変わってくると思います。今なるべく感染を抑えるというところもあるので、また今年度もウェブ会議等の併用をさせていただきたいと考えています。

資料の説明は以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。

ただいまの説明に対して委員の皆様からご質問、ご意見などございますでしょうか。

では、スケジュールについては、こういうことでご了解いただければと思います。

報告・承認事項(3) 足立区バリアフリー地区別計画(江北周辺地区)の策定について

○八藤後会長 それでは、報告・承認事項(3)の「足立区バリアフリー地区別計画(江北周辺地区)の策定について」、これを事務局から説明願います。

○白勢UD担当係長 続きまして、資料3の足立区バリアフリー地区別計画(江北周辺地区)の策定についてご説明させていただきます。お手元にあります資料、パンフレットと製本したもの、2つございます。

今回、我々ユニバーサルデザイン担当課としては、バリアフリー法に基づく地区別計画というものを策定しています。前々回の推進会議にもご報告させていただいているところです。

製本のものをおめくりいただきまして、3ページ目になります。バリアフリー法に基づいて、我々、足立区内で10か所の特定地域を定めまして、その地域のバリアフリー化を推進するという計画をつくっております。今年度は、区役所地区に続く2地区目として江北地区を挙げております。中身については、区のいろいろな施策であったり、バリアフリー化をするに当たる目標等々を記入させていただいています。本推進会議のメンバーでいらっしゃる山田副会長、金子委員、ご両名にバリアフリー協議会の委員としてご参加いただきまして、このような形で製本させていただきました。来年度も引き続きほかの地域についてこの計画を策定させていただきます。また策定する際、計画が大方決まるタイミングで皆様方にはご報告させてい

ただきたいと考えています。

簡単ですが、説明は以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、各委員の皆様からご質問、ご意見などありませんでしょうか。

余計な話ですけれども、私からちょっと、釈迦に説法かもしれませんが説明いたしますと、これはもともと根拠法がバリアフリー法という国の法律にありまして、各市町村が重点地区というのを自分たちで指定しなさいと。そこをまず重点地区と定めて、そういうところから充実させていくということで、狙いとしては、こういう拠点をつくって、だんだん全域に時間をかけて広げていくという狙いがあるものと思っております。そのうちの1つ、江北地区がこのようななったということの報告でございました。

では、よろしゅうございますでしょうか。これは深く読むとなかなか面白いというか、興味深いところもありまして、もしその中で質問などありましたら、また担当課にお尋ねいただくのもよろしいかと思います。

報告・承認事項(4) 足立区ユニバーサルデザイン推進会議公募による区民委員の選考結果及び委員の委嘱について

○八藤後会長 それでは、報告・承認事項(4)の、足立区ユニバーサルデザイン推進会議公募による区民委員の選考結果及び委員の委嘱について、事務局から説明願います。

○白勢UD担当係長 事務局です。続きまして、資料4-1、4-2、4-3、ユニバーサルデザイン推進会議委員の名簿及び推薦についてのご説明をさせていただきます。

資料4-1をご覧ください。令和3年度につきましては、ユニバーサルデザイン推進会議の委員につきましては、このような形で予定しております。ただ、以前皆さんにお送りした状況ですと、我々足立区の人事異動の発令の前でしたので、一応現状、足立区につきましては令和2年度のメンバーを記載させていただいております。

なお、公募による区民委員のところにつきましては、皆さん、委員の任期が令和2年度末で切れるということがございまして、前回、前々回の推進会議でもご報告させていただきましたとおり、公募による選考を行いました。選考結果につきましては、委員名簿に書

かれています2名の方が、来年度、令和3年度の委員としてご参加いただくという形になっております。

なお、各団体の代表の委員の皆様につきましては、この事前の資料をお送りする際に個別に推薦書をお送りしております。個別の推薦書の依頼文になりますので、各団体の会長のお名前は今回お配りしている事前資料には記載しておりませんが、恐らくもう皆さんお手元に届いているかなと思います。令和3年4月7日の期限で各委員の方々の推薦書を頂きたいと思っております。現状、今お聞きしている形ですと、人事異動等がなければ、現状の委員の方々皆さんにご参加いただくということでお聞きしております。

なお、足立区の令和3年度につきましては職員の人事異動等がありましたが、その情報がまたまとまり次第ご報告させていただきたいと考えております。

先ほど申し上げました4月7日の推薦書を頂きましたら、4月の第3週、12日の週あたりに皆さんに委嘱状をお配りしたいと思っております。仮に新しい委員になられる方がいらっしゃった場合は、大変お手数ですが、過去の議事録等の引継ぎをぜひお願いしたいと思っております。個別のご説明も我々のほうでさせていただきますので、その辺のご質問等も年度明けの4月のタイミングでご連絡いただければと考えております。

簡単ですが、説明は以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。

ということで、新たに公募委員が決まったということでございます。この選考においては私とか山田副会長も同席しておりますけれども、この委員会とは別組織になりますので、一応こういう結果になったというご報告にとどめさせていただきたいと思っております。

それでは、ありがとうございます。引き続き、事務局、安岡さん、お願いします。

審議事項(1)「令和2年度実施事業」の進捗管理の方法について

○安岡UD担当課長 それでは、審議事項(1)の令和3年度の評価方法についてご説明させていただきます。

審議事項(1)の令和3年度の施策評価の方法についてですが、資料5と資料6をご覧ください。

今回、施策につきましては、前回と変わり

なく31施策を対象としますが、今回、負担を減らすため、各部会8施策程度を考えて、評価部会1と2の二部制という形になり、その合計16施策をこちらで行いたいと考えております。

資料6が、施策の評価要領となっております。こちらは今までどおりの資料ですが、施策の事前評価の記入について、今までは「各項目に対するご意見をご記入ください」ということで、委員の皆様には必須といえますか、意見を全て書いていただくという形になっておりましたが、今後は基本的には件数をご記入いただくことをメインにして、ご意見については、「あればご記入していただく」といった負担の軽減や、「こういったほうがいいのではないか」といった意見を皆様と議論していただき、来年度につなげていきたいと思っております。

○白勢UD担当係長 事務局から補足の説明をさせていただきます。

令和2年度につきましては、皆さんのご協力のおかげでかなり多くのご意見を頂き、評価部会の中でご議論いただいているところでございます。ただ、令和元年度、一昨年度のときに、実はかなり評価の方法を見直しまして、作業量をかなり減らして実施させていただきました。その際に、メリットとしては、皆さんのご負担が減ったというところがあるのですが、デメリットとして、なかなか多くの広いご意見を頂けなかったということがありまして、令和2年度については、できる限り専門外の分野であっても皆さんからご意見を頂きました。ただ、やはり、専門外の部分のところというのはなかなか評価がしにくく、コメントも、どちらかというところ専門の範囲内ではなくて個人的な意見になってしまうというご意見もございました。加えて、評価の点数に関しても、専門外ということで、個人的な評価の点数が施策の評価の点数に反映されて本当にいいのだろうかというご意見もありました。ただ、あくまでも評価いただく点数に関しては、皆さんの個人的な意見も含めて集計させていただき、評価部会の中で最終的な評点を決めるということになりますので、基本的には各委員の皆さんの評定がそのままダイレクトに施策の評価に影響するということではありません。それは皆さん評価部会でご参加いただいているときにご認識いただいているところだ

と思います。実際にヒアリングをした結果によって、5点の平均点だったものが例えば3点に下がる。その逆もしかりです。3点だった評価のものが4点、5点というふうに上がるということはあると考えています。

そうした中、令和2年度の中で皆さんからご意見を頂きまして、なるべくより専門的な分野のところに特化して評価したいというご意見も頂きました。それとは逆に、広い意見、皆さんが専門としていない部分の意見もしたいというご意見もございましたので、今の評価要領はそのまま活用させていただき、委員の方々の役職や個人的な見解も含めて広く意見を頂きたいと考えています。ということで、ある委員の方々が、これは専門的なところしか答えられないということであれば、コメントについては専門的な部分のところだけで、評価については5段階評価をいただく。また、自分が専門外であっても、前回の推進会議の議論であった、利用者という部分での視点としてこういった意見をしたということであれば、それはコメントとして書いていただければ、我々のほうで集約させていただくという形にしたいと考えております。

加えて、実施報告書、評価報告書に関しても、次の推進会議のときに具体的な議論をさせていただくのですが、報告する内容で重複している箇所が何か所かございます。その部分についてはなるべく集約させていただき、皆さんが個別に評価する際の負担にならないように調整させていただきたいと考えております。

ということで、資料5、資料6に関しては、昨年度の資料と同じものになりますが、その中で皆さんのご意見をぜひ頂きたいと思ひまして、このような資料にさせていただきました。

説明は以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。

令和2年度の経験などを踏まえまして、令和3年度の評価方法をご提示したということになります。令和3年度のほうには委員交代に関わらない方もいらっしゃるかもしれませんが、ぜひ今年の評価をやった経験なども踏まえまして、ご意見やご質問などをお寄せいただければいいなと思ひますけれども、いかがでしょうか。

○白石委員 東武鉄道の白石と申します。

昨年1年間委員をやらせていただきまして、次年度以降の評価の方向性といったところなのですが、今、白勢様からもお話があったとおり、事業者の知見では評価しにくい部分が存在するようなどが何か所かありまして、各施策において専門的に評価できるような、例えば委員や事業者の数を増やすであったり、そういった体制の検討自体も今後は必要になってくるのではないかなと思ひております。

○八藤後会長 ありがとうございます。それぞれの評価項目について、割と詳しい人たちを入れていったらどうだろうかということで、事務局のほう、いかがでしょうか。

○白勢UD担当係長 事務局です。先ほど白石委員からお話しいただきました委員の構成に関しましては、実は前回の推進会議の中でも川口委員、工藤委員から「区民委員の人数が今2名ですが、もう少し多い方がいいのではないのでしょうか」というご意見や、お話しをいただきました。また、先ほど白石委員からお話しいただいたとおり、もう少し事業者の分野を広げて、ユニバーサルデザインに関しても以前に比べれば大分周知が図れてきて、様々な分野で取り入れられているという状況もありますので、大変申し訳ないのですが、委員の任期が2年ということで、令和3年度、令和4年度につきましては現状の委員構成でやらせていただきたいと思ひています。

また、次の2年間、令和5年度、令和6年度以降に関しては、今お話しいただいた件も踏まえて、委員の構成や人数というところは調整させていただきたいと思ひています。

当然、各年度の中で皆さんのご意見は頂きたいと思ひています。例えば、今15名の人数を20名にするとか、区民委員の人数を、例えば今2名だったところを4名に増やすとか、そういったご意見はぜひ頂きたいと思ひますので、いろいろな場でご説明はさせていただきたいと思ひておりますが、何かご意見等がありましたら遠慮なく申し出ただければと考えています。

以上です。

○八藤後会長 ありがとうございます。よろしいですか、今の回答で。

○白石委員 ありがとうございます。

○八藤後会長 では、少し時間が空きますが、次々回の課題として検討されるということ

で、ぜひよろしく願いいたします。

引き続き、質問、ご意見ございますか。

別に私の意見というわけではないですけれども、私の見解というか感想を申し上げますと、ここの会長ということでここに座っている私でも、これはちょっと評価しにくいなとか、よく分からないなというのは正直あります。皆さんも当然あるのではないかなと思いますが、今の事務局の説明のとおり、どうぞちゅうちょなく、ある意味では専門外というか、自分が関心を寄せていたもの以外のところを評価しなければいけなくなったという場合でも、ちゅうちょなく、こういう言い方は変かもしれませんが、外から見たというか、皆さん方が、言ってみれば専門外で結構ですが、そういう立場から見て、これはどう思ったのだろうかというようなこともぜひ聞いて、反映していきたいと。私なんかはよくあるのですけれども、自分の専門だといろいろ分かってしまって、これはしようがないかなみたいなことで終わらせてしまうということもあるのですが、ちょっと離れたところから俯瞰して見ると、やっぱりこれはおかしんじゃないかというご意見を頂けるといことは結構あるのです。なので、どうぞちゅうちょなさらずにご意見を頂くという体制にしてほしいということで、また、事務局もそれを望んでいるということです。

それでも担当部課から出た資料を読んで、評価のしようがないなというのはありますよね。これは、一つは資料の作り方が悪いというのもあると思うのです。こういうのもまたご意見として、これでは評価のしようがないという意見を言っていたでもいいと思うのです。出すほうとしても、これは専門家が見るのだというようなつもりで昔は書いていたのですが、だんだん、いろいろな人を見て評価してくれるのだということが分かってきていただいたようで、最近では、初めて見る一般区民の人でもこれだったら分かるかなというのを作ってくれるようになりましたが、中にはまだまだというのもちょっとありますので、これじゃ分からないよ、もうちょっと追加してねというのがあってから評価していただくというのもいいのではないかなと思います。私が話していることに一々事務局の方、うなずいていただいておりますけれども、一応私はこの点については合意が取れていると思っております。

ということで、私の意見のような、補足のようなものになりましたが、ご披露させていただきました。

引き続き、いかがでしょうか。

○工藤委員 実は今日が最後になります工藤です。

今、八藤後先生がおっしゃったように、私自身も区民委員としてこの期間在籍させていただいている間に、いろいろな葛藤を持って施策評価をさせていただいていました。今思っているのは、専門性のある方は専門性を思い切り突き進むような意見をもちろん出すのがここの委員会の場だろうし、同時に、それを暮らしに本当にその意見だけで落とし込めるのかどうか、そこはやはり区民委員なり、その皆さんが職域としない部分の暮らしの部分での考え方の意見の述べ方が必要なのではないかと思います。なので、やはり常に俯瞰して評価をするということが本当に大切なのだなと思いました。

あともう一つは、区民委員として言っていますけれども、私自身が北千住地区で「知らない路地の映画祭制作委員会」というアートプロジェクトの運営の代表をしております。そうすると、周りに芸大生なんかもいっぱいいたりして、アート寄りの表現という表現の仕方、心の部分も、物をつくるという発想も、それはユニバーサルデザインの部分と反している部分がありまして、どういうふうに分けて折り合いをつけて、自分で自主映画とかをまちの人たちと一緒につくっていかうかなということをすごく悩んだ時期がございます。でも、今はっきり言えるのは、色が見えなかりょうが、音が聞こえなかりょうが、それを補完する感覚のものを表現できれば、それはまち映画だったりアート寄りの考え方のかなと自分の中で折り合いをつけて、自分の思いをそこに乗せるというか忍ばせるのがそういうものではないかなと。

ただ、その伝えるということに関して言うと、その人の暮らしの中でその人が、受け止めた方が自分で生活のアクションをしていかなければいけない。暮らしを豊かにするというのを考えていくと、やっぱりユニバーサルデザインはそういうふうには伝えられる評価を委員会ですていかなければいけないのだなと。それはすごく自分の中で最近すみ分けて考えてきていることなので、今後は、なかなかここでこれだけ近い距離でやって

いる評価のことを、私が自分の活動の中で実践的にやっていけたら、実践者として表現できるように活動していけたらいいなと、そんなふうに思っています。なので、先ほど白勢さんが、これはこうでいいんじゃないか、これはこうでいいんじゃないか、そのくくらないやり方。うちの団体もいろいろな外国人もみんな一緒になって、英語でもない、日本語でもない言葉を交わしながら映画づくりをして、それも商店街の人や町内会の人たちと一緒にやってつくっているところですので、そんなことを俯瞰してここの評価に表現されていたら、またもっとこの先いい委員会になるのではないかなと思っております。

○八藤後会長 ありがとうございます。ここで評価するというお立場になって大分長くやっていただきましたけれども、それがご自分の活動の中で、ほかから見たらどう見えるのだろうかとか、あるいは内部でどういうふうにしていったらいいのだろうかというのに役に立ったというようなお言葉だったかなと思います。直接回答を求めているものではないとは思いますが、もし事務局のほうで何かあればコメントいただければと思います。

○白勢UD担当係長 事務局です。工藤委員、貴重なご意見ありがとうございます。

この会議、私も2年目ということで参加させていただいて、皆さんから活発なご議論を頂いている推進会議という認識でいます。会議によってはそのまますると通して終わってしまうという会議もあるのですが、こちらについては、皆さんがいろいろな視点で、専門的なところ、専門外のところ、個人的な意見も含めて活発に議論していただいている会議というふうに認識しております。我々としてもそれは継続してやっていっていただきたいし、やっていかなければならない会議だというふうに認識しています。

多様性の社会ということで、多様な意見を享受する会議でないと、やはりユニバーサルデザインの推進会議にはならないというふうに認識しておりますので、そういったところではぜひ工藤委員もまたご意見を頂きたいと思えます。令和3年度以降も一区民としての中で頂きたいと考えていますので、ぜひそういったご意見もお待ちしたいと思っています。

事務局の説明は以上です。ありがとうございます。

います。

○八藤後会長 ありがとうございます。よろしゅうございますでしょうか。

では、引き続き。その前に、山田副会長はまだお入りになっていないですね。

○白勢UD担当係長 事務局です。実は山田委員がちょうど会議があつて、途中抜けて、また退席されるということで事前にお話を聞いていました。10時20分ぐらいから10時40分ぐらいまでの間に入りたいというふうにお話ししていたのですが、実は招待メール等も何度か送っていて、連絡も取っているのですが、ちょっと連絡がつかない状況です。別の会議でいるというお話もいただいているので、もしかしたらその会議の関係でそのままご出席できないかなというところも考えています。

先ほど議事録の署名人のところでもご説明したとおり、事前にご説明させていただいております。各項目に関しても山田副会長からもご意見を頂きまして、委員の構成であったり、評価のやり方についても、確かに負担が大きいよねというようなお話も頂きましたし、委員のメンバーの構成についても、確かに今の人数だと、前回の推進会議であったような話の中で、なかなか多くの広い意見を頂けないだろうと。多様な社会、当然、LGBTの関係であったり、いろいろなことが今後また新しく展開していく中では、会議のメンバーについても再考するというのもいいのではないかなというようなご意見は頂いております。

山田先生、なかなかご出席いただけないので、このままいくとそのまま会議が終わってしまうと思うのですが、何度か事務局のほうでトライをさせていただきたいと思っています。

説明は以上になります。

○八藤後会長 ありがとうございます。事前にご意見伺いもしているということで、それで今日は進めておりますことと、それから、私のこの間の記憶では、はっきりとはおっしゃっていませんでしたが、別の会議に今出ている、その内容によって、出られない可能性もあるのではないかなというのを示唆していたような気がしますので、ご出席いただけない場合にはこのまま進めてもよろしいというふうにお考えいただいていると解釈いたします。つながらなかつたら、そういうこと

だということで進めさせていただきます。

ということですが、続きます。ご意見、ご質問等あれば、どうぞ。——いいですか。ありがとうございます。

それでは、これをもって今日は主要な議事は終了ということになるかと思えますけれども、それでよろしいのですよね。

○白勢UD担当係長 はい。

○八藤後会長 それでは、司会進行を事務局にお返ししたいと思います。よろしく願います。

○安岡UD担当課長 八藤後会長、どうもありがとうございました。

本日の会議はこれで終わりですが、残念ながら、このメンバーによる会議は最後となります。本来ならば懇親会等も予定するところですが、このコロナ禍の状況ですので、今回は皆様から一言ずつ、ご自分の感想でもいいですし、この会議についてでも構いませんので、頂けたらと思います。席の順番で田中様から、よろしく願います。

○田中委員 田中です。

僕、ほとんど意見を言っていないと思うのですがけれども、初めての経験で、まだこの会議自体も2回目か3回目かという感じで、まだちょっとよく分からないところが多い感じはします。でも、区の仕事にちょっと関わっているなという感じは感じましたね。そんな感じですかね。あまり意見がなくてすみません。

○安岡UD担当課長 どうもありがとうございました。

では、長澤委員、願います。

○長澤委員 長澤です。

とりあえず1期2年、今日でおしまいに一応なって、ちょっとほっとしているという感じです。というのは、2年たってやっと全体の流れがつかめてきたかなという感じです。私の専門はカラーユニバーサルデザインという、またちょっとニッチなところがあって、先ほどの評価の話で、これは評価しづらいとか、よく分からないというのが正直結構多かったのですがけれども、ただ、一区民としての目線としたときに、これはないだろうとか、これはいいんじゃないかという感じの目線で結構評価をしてきたつもりです。今までやってきたことが1つでも役に立っていればいいなというふうに何となく思っています。

○安岡UD担当課長 ありがとうございます

した。

金子委員、願います。

○金子委員 金子です。

私は創立以来ずっとこのメンバーに入らせてもらっているのですがけれども、その割に自分で進化していないなと思っています。それは、時々言いますが、言い訳しちゃいけないとはいいいながらも、どんどん年を取ってくると、いろいろな意味での思考力とか記憶力とかが衰えていくものですから、であるにもかかわらず、私、障害者団体連合会の事務局長をやっているのですが、そのほかに仕事として訪問介護の事業所をやっているのです。そこでヘルパーもやったりとか、その運営もやっています、そういう忙しさの中で、この評価の時期はちゃんと冷静にどうか、いろいろ勉強した上でやればいいのですが、いつも追い詰められて、そういう感じでの評価をやっているものですから、申し訳ないなと思いつつも、でもやっぱりこの評価制度というのは非常に大事ななと思っています。

ということで、また来年以降もやるつもりですので、よろしく願います。

○安岡UD担当課長 ありがとうございます。

真鍋委員、願います。

○真鍋委員 総務部、真鍋でございます。お世話さまでございます。

人事異動の話が出ましたので、私も4月1日から総務部長から今度は道路整備室長ということで、いよいよ本職のほうに戻れるということになりました。その間いろいろとお世話になりました。

先ほど多様性という話がありましたが、少しだけお話しさせていただきますが、総務部のほうでは人権推進ということで、カラーユニバーサルデザインのほかに人権推進をやってございます。改めて皆様にご案内する——今日ここで議論するわけではありませんが、昨年の10月からいわゆる性的マイノリティの関係で様々な動きがありまして、やっと4月からいわゆるファミリーシップ・パートナーシップ制度が今後足立区で導入されることになりました。やはり誰もが住みやすい安心なまちづくりというのはこのユニバーサルデザインにつながるものだと思います。そういう意味では、多様性を大切にすることで、仕事は変わりますけれども、

何かしらまたお役に立つかと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

○安岡UD担当課長 ありがとうございますました。

大山委員、お願いします。

○大山委員 私も異動といいますか、総務部長からこの都市建設部長を含めて6年間この会議に関わらせていただいたのですけれども、4月から教育長をやらせていただけたということで、異動ということになります。

今まで私はいろいろな審議会等で区民の方といろいろな意見を取り交わすことが多いですけれども、この委員会は本当に皆さんが活発にご意見を言っていて、これは本当に八藤後会長の差配がすばらしいのだろうなと思いますけれども、本当にいい会議だなというのが感想でございます。

先ほどから、評価のご意見がいろいろ出ておりますけれども、事務職の私が都市建設部長になったのも、専門家ではない素人目線でそれが本当に区民のためになっているのかどうか、それをそういう立場から判断せよと、そういうような使命もあったのかなと思っています。

これから教育委員会ということになりますので、また今いろいろ言われております「心のバリアフリー」ですとか、本当に子どもたちがそういった心のユニバーサルという気持ちでいろいろな方に接することのできる、そういったことも目指していければなと思っています。

今後ともどうぞよろしく申し上げます。本当にお世話になりました、ありがとうございます。

○安岡UD担当課長 ありがとうございますました。

戸谷委員、お願いいたします。

○戸谷委員 戸谷でございます。

この会に参加させていただきまして、本当に皆様のすばらしいご意見をたくさん出していただいて、足立がどんどん変わっていくのが目に見えて分かってまいりました。私は花畑の、足立の外れといつも言うのですけれども、東京の外れで、足立の外れで、花畑なんです。後ろが毛長川で埼玉です。今回、文教大が開設いたしまして、また大きくあの辺が発展してくるのではないかなと期待しているわけでございます。

何もこれといったあれはございませんけれども、この会に参加させていただいたために、いろいろなところに注目する部分というのがたくさん出てまいりまして、こんなに大きく変わるものかと、私自身びっくりしていることでございますので、足立区がますます——本当に庁舎の中を見ても変わってきました。随分人間的にもいろいろな面で変わってきているということを実感させていただいておりますので、これからどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○安岡UD担当課長 ありがとうございますました。

白石委員、お願いいたします。

○白石委員 東武鉄道の白石と申します。

まず皆様、1年間ありがとうございました。

私自身、この推進会議に携わる前までは、ユニバーサルデザインというのはどちらかというとハード面のイメージがかなり強く、そういったイメージを持っていたのですけれども、実際にこういう推進計画の中で評価をさせていただく中で、例えば小中学校への教育であったりとか、産業とか製品の支援であったりとか、情報発信の仕方など、いろいろなソフト面の部分の活動も多くあるのだなということで、本当にユニバーサルデザインに関する視野が広がったというか、そんな気持ちを持っております。

1年間、本当にありがとうございました。

○安岡UD担当課長 ありがとうございますました。

工藤委員、お願いいたします。

○工藤委員 花畑は東京の入り口で、足立の入り口ですよ。というところで、すみません。

3期6年間、公募の区民委員をさせていただきました。まず、本当に在籍させていただきまして、ありがとうございます。それに、この2年間ご一緒させていただきまして皆さん、本当にありがとうございます。感謝しております。

本当になかなかユニバーサルデザインという言葉自身が区民に浸透していない。暮らしの中に身近にあるはずなのにといいところから私自身もスタートしたのですけれども、評価をすればするほど、ハードとかソフトとか、そういうことではなくて、その考え方をここで評価するんだなということがすごくよく分かりました。そういうふうにと考えると、自分たちの暮らしの中に、こういう考

え方があるんだよと伝えるだけで、それで十分に広がっていくような、そんな気がしています。

それも、先ほどちょっと意見の中でご紹介させていただいた映画祭、映画の制作委員会なのですけれども、何と5年間分の活動のご紹介を、実は明日、区庁舎ホールでさせていただくということで、私が監督をさせていただいた作品も一応午前中上映させていただくということになりまして、それだけちょっと皆さんに、もしお時間があればと思ってご紹介させていただきました。

本当にユニバーサルな気持ちを持っている方たちが集まっているところでして、教育委員会のほうも皆さん、これも全部後援していただいている、これは2020年子供未来応援ネットワーク事業助成の年間報告会を兼ねているということでございまして、これからこうやっていろいろなものをつなげていくのもユニバーサルデザインの役目ではないかと思っております。そのときにこの委員会が中心となっているということを私自身も強く希望しますし、もっともっと専門職の方も入って、区民委員もいっぱい入って、近いところで、行政委員ってこんなに面白い委員会があるんだよと、そういう委員会になることをこれからも望んでおります。

本当にありがとうございます。
○安岡UD担当課長 ありがとうございます。

それでは、最後に八藤後会長からお願いいたします。

○八藤後会長 皆様、今期もどうもありがとうございました。金子委員じゃないのですけれども、私も負けないぐらい古いのですけれども、また大分頭の回転が悪くなったって——そんなことは言っていないか。というようなことですが、どきっとさせられました。いよいよ私も優先的に注射をさせていただくことになりまして。それがどうしたということですが、

このユニバーサルデザインの会議、実はとても勉強になっています。よく市民参加と言われてはいますが、具体的にどういうふうに参加していったら、意見というのがどういう形で出てきて、それがどう反映されるのか、されないのか、されなかったとしたらどうしてされなかったのかとか、そういうことをつぶさに見ていくことができましたし、私、教

育職でもありますので、そういうお話をしたりとか、それから、各市町村で計画を策定するなんていうのも、授業ではやっていますけれども、じゃあ例えばどうなんだという、今日のこれは、しめた、教材に使っちゃおうというふうに思っていました。こんなふうにしてやっているんだよとかね。自分自身が足立区に役に立っているかどうかというのは、一生懸命やっていますので、立っているとは思いますが、一番自分自身に役立てている人間じゃないかなと思います。皆様方もそれぞれの生活や活動、お仕事の中で反映しているということを聞きまして、私と同じだ、よかったなと思っています。

引き続きお願いする方もおりますし、私も引き続き居座るようございまして、その方はもちろんですけれども、今日でご退任という方も、今までお話がありましたけれども、ここでの内容をぜひ生かして、次の活動、お仕事などに生かしていただいて、みんなに伝えていただくと。なおかつ、この委員会に少しでもいいから関わってくれるとなおいいかなと思っております。

今日はどうもありがとうございました。
○安岡UD担当課長 ありがとうございます。

それでは、これで終わりになります。本日は、皆様方、お忙しい中、第27回ユニバーサルデザイン推進会議にご出席いただきまして、ありがとうございました。

次回の第28回足立区ユニバーサルデザイン推進会議については、5月14日（金）の午後を候補日と考えております。ご都合につきましては、後日で構いませんので、悪い場合は都市計画課ユニバーサルデザイン担当のほうにご連絡いただければ幸いです。また、後日、正式に決まり次第、ご連絡させていただきます。

これにて第27回足立区ユニバーサルデザイン推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。

なお、お車でお越しの方は、駐車券をご用意しておりますので、お帰りの際に事務局までお申し出ください。

本日はありがとうございました。

閉会